

dejima

出島

郵政労働者ユニオンへの差別を許さず、松江支部長の不当配転撤回、非正規雇用労働者の正社員化での差別をなくす支援共闘会議(略称：ユニオン長崎支援共闘会議) 会報「dejima=出島」、 ■連絡先：長崎市恵美須町 2-5 サンロイヤルⅢ202、 ☎&FAX 095-828-1953、 Eメール webadmin@yuseiunionkyusyu.jp ホームページ <http://www.yuseiunionkyusyu.jp/> (郵政労働者ユニオン九地本)

NO、1 2010、12、22

郵政ユニオン長崎支援共闘会議設立準備会、開催！

1) 経過と今後。

皆様、ご支援ありがとうございます。

長い名前ですので「支援共闘会議」としますが、この会の設立準備会が12月22日に長崎市の教育文化会館で開催されました。闘う労働者と労働組合を差別、排除する会社(社会)を許さないという思いと地域の力の結集が、この支援共闘会議です。ぜひ多くの中間の参加を訴えます。

次は正式の会の設立で来年2月16日を予定しています。それまで多くの団体、個人の賛同人と会員獲得を目指します。会の設立に準備いただいた小杉徳寿さん(呼びかけ人代表)と、深浦義孝さんほかの呼びかけ人の方に深く感謝申し上げます。

2)、会の目的。

本会の目的は、①、日本に広がる非正規雇用労働者の権利回復。具体的には郵政ユニオン長崎への差別を許さず正社員化をかちとる。②、闘う労働者と労働組合差別・排除の社会をただし、ユニオン長崎の組合事務室獲得などでの差別撤回。③、松江國晴長崎中央郵便局支部長の不当な長崎北郵便局への配転を撤回させる県労働委員会闘争を勝利するものです。

3)、賛同人などの現状。

12月21日現在の賛同人と団体は、17団体と47人です。まさに、最後の忠臣蔵と同じの47人でした。会の代表は井原長崎市議に事務局でお願いしました。設立総会で決議を得てのち、選任となります。事務局長は向井宏(ユニオン書記長)、次長は長渡明夫(鉄建公団訴訟原告団)、山田武明(ユニオン)です。

4)、松江県労委闘争

4月の松江支部長への不当配転から闘いが始まり、5月に不当配転闘争の先輩の広島「淀谷闘争」当該と事務局・谷本さんを講師に、第1回の対策会議を開きました。そして、5回の対策会議を経てのち、12月1日、塩塚弁護士、魚住弁護士に正式に依頼を行いました。さらに県労委闘争には中嶋照次(前地区労書記長)さんが審理の代理人についていただき、また、地区労も支援を決めてくれました。大きな力となります。弁護士とは明日、第3回目の対策会議を開催しますが、1月中に申し立てを行う予定です。



5)、会報の名称について。

会報の名称については、会の設立賛同人要請に対して、友人が「運動の出島たれ」とメッセージを送ってくれたことからですが、これでしょうか。

6) 賛同人と団体。

12/21 日現在の名簿です。 個人の呼びかけ人で、
1、小杉徳寿(全九電長崎支部副委員長)、2、深浦義孝(鉄建公団訴訟長崎原告団代表)、3、野口賢治(同、事務局長)、4、長渡明夫(同、原告団)、5、木下光宏(同、原告団)、6、小川眞史(同、原告団)、7、川瀬正博(元全九電長崎支部書記長)、8、荒木賢三(新社会党長崎県本部書記長)、9、山崎満喜子(鉄建公団訴訟原告団を支える会幹事)、10、松崎涼子(原告団を支える会)、11、山本恭郎(郵政労働者ユニオン九州地方本部委員長)、12、大石眞三高(鉄建公団訴訟原

告団を支える会幹事)、**13、中島義雄**(長崎全労協議長)、**14、山田武史**(郵政ユニオン中央本部組織部長)
15、松田運生(郵政ユニオン長崎支部執行委員)、**16、向井宏**(郵政ユニオン九州地方本部書記長)、**17、山田武明**(郵政ユニオン九地本執行委員)、**18、松江国晴**(郵政ユニオン長崎支部支部長)で、

賛同人で 19、井原東洋一(長崎市議会議員)、**20、井川登喜男**(元長崎地区労副議長)、**21、高實康稔**(長崎大学名誉教授)、**22、野口伸一**(全九電同友会会長)、**23、平田一郎**(ピースサイクル全国ネットワーク事務局長、東京)、**24、泉田隆一**(郵政ユニオン新潟支部書記長)、**25、丹羽良子**(郵政ユニオン栃木支部)、**26、谷本大岳**(郵政ユニオン広島東支部執行委員)、**27 淀谷浩哉**(郵政ユニオン中国地本執行委員、強制配転当該)、**28、松田清**(郵政ユニオン安芸府中支部執行委員、強制配転、原職復帰)、**29、久保博夫**(自治労神奈川本部、藤沢市職労)、**30、比嘉宏**(郵政ユニオン沖縄支部支部長)、**31、小杉実知子**(I女性会議ながさき副議長)、**32、橋本輝之**(郵便事業会社東京芝支店)、**33、見口要**(郵政ユニオン福岡支部支部長)、**34、川副詔三**(「地域と労働運動」編集長)、**35、池田年宏**(大分ピースサイクル)、**36、大森進**(全労協全国一般東京労組、副委員長)、**37、名古屋哲一**(旧、郵政4・28 ネット、免職原告)、**38、渡邊亘**(郵政ユニオン新潟支部)、**39、吉野信次**(ピースサイクル全国ネットワーク共同代表)、**40、杉本篤敬**(鉄建公団訴訟原告団、鳥栖)、**41、松岡一昭**(郵政ユニオン九地本執行委員)、**42、小島滋**(郵政ユニオン九地本執行委員)、**43、海江田弘子**(郵政ユニオン長崎支部執行委員)、**44、高口美和子**(郵政ユニオン長崎支部執行委員)、**45、鈴木功**(郵政ユニオン長崎支部執行委員)、**46、山口義徳**(郵政ユニオン大村支部支部長)、**47、田島省三**(鉄建公団訴訟原告団、博多)、**48、原田亘**(鉄建公団訴訟九州協議会議長)。(12/21 現在)

団体では、

- 1、新社会党長崎県本部
- 2、1047名の解雇撤回・長崎国鉄共闘会議
- 3、鉄建公団訴訟長崎原告団
- 4、鉄建公団訴訟長崎原告団を支える会
- 5、ピースサイクル長崎ネットワーク
- 6、郵政労働者ユニオン九地本&長崎支部

- 7、同長崎北支部
 - 8、同長崎西彼杵支部
 - 9、同長崎大村支部
 - 10、同沖縄支部
 - 11、長崎全労協
 - 12、全九電同友会
 - 13、郵政ユニオン広島東支部
 - 14、郵政ユニオン安芸府中支部
 - 15、郵政ユニオン福岡支部
 - 16、労働相談室ひろしま
 - 17、ピースサイクル三多摩ネットワーク
 - 18、スクラムユニオン広島
 - 19、月刊誌「地域と労働運動」
 - 20、郵政労働者ユニオン中央本部
- となっています。



7)、メッセージから。

郵政ユニオン長崎様

要請文読みました。心から賛同します。地域と労働運動として賛同団体に参加させて下さい。

会社の行いは労働者として許すことのできないものです。その許すべからざる攻撃に対して、反撃に立ち上がった皆さん方に連帯の気持ちを伝えさせていただきます。

今日の日本労働運動の後退の中では、皆さん方の闘いは多くの困難に直面することになるかと思います。しかし、とにかく闘いに立ち上がらない限り、事態が好転することなどありません。闘いに立ち上がることで、これがすべてに優先して最初に行われなければならないことだと思います。皆さんの決断に拍手を送りたい気持ちです。

郵政の企業の枠を越えて、地域争議の道を選択されたことにも共感を感じます。皆さんを応援します。頑張ってください。

地域と労働運動編集長 川副詔三

8)、後記

ともかく発足。盛会に向けて、説明にどこへでも行く決意です。地元対策もユニオンと会員の力次第、動力は足と思います。

県労委必勝。頑張ります。次回の幹事会は1月20日の国鉄原告団を支える会幹事会(旗びらき)と兼ねることで決まりました。(事務局)。

